

会計管理者組織

重点目標

- 1 正確・適正及び効率的な財務会計事務への取組
- 2 公金管理事務適正化のため実施する検査等の継続
- 3 歳計現金の安全で効率的な管理・運用への取組

平成25年度 重点目標管理シート

重点目標	正確・適正及び効率的な財務会計事務への取組			部局名	会計管理者	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第1編 コミュニティ・自治 第2章 分権自治を確立するために 第2節 機敏に対応できる効率的な行政組織にする				市長マニフェスト における位置付け	-1-(1)	
現況・課題	行政として、市民サービスの提供に当たっては常に予算の執行が伴い、適正かつ正確な会計事務の執行が求められています。そのため、財務会計事務担当者の資質向上に繋がる取り組みが必要となります。						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 会計事務担当者の資質向上により債権者への早期支払が可能となる。 財務規則等の見直し・支払い方法の検討を行なうことで、事務処理の効率化を図る。 						
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）			
財務会計事務能力の向上 (1) 新任会計事務担当者研修会の開催 (2) 財務会計事務担当者研修会(係長クラス) (3) 出前研修会の実施	(1) 5月 (2) 7月 (3) 随時	(1) 50名程度を予定 (2) 80名程度を予定	(1) 5/30 新任会計事務担当者研修会実施 計39名 (2) 7・29・30 財務・会計事務担当者会議実施 計69名 (3) 6/25 財務会計システム研修会実施 計18名	(1) 5/30 新任会計事務担当者研修会実施 計39名 (2) 7・29・30 財務・会計事務担当者会議実施 計69名 (3) 6/25 財務会計システム研修会実施 計18名 計画どおり開催・実施した。進捗率100%			
適正帳票率の向上 (1) 不備率調査の実施 (2) 不備率調査結果による個別指導の実施	5月、1月 6月～2月	(1) 適正帳票率 96% (2) 5課所程度を予定	(1) 適正帳票率 92.3%（調査6月実施）	(1) 適正帳票率 92.3%（調査6月実施） (2) 適正帳票率 95.6%（調査9月実施） (3) 適正帳票率 95.6%（調査1月実施） 目標数値に達しなかったが、近い数値まで改善することができた。目標達成率は、99%程度			
上田市財務規則の関係箇所の見直し・検討 上田市財務規則の条文及び別表等の関係箇所の見直しを行い、事務の効率化を図る	12月までに		規則改正の方向で検討中		・公共料金の口座振替払システム稼働（平成26年7月実施）にあわせ、上田市財務規則取扱規程の変更を行う。		
公共料金の集合支払の検討 関係箇所との打ち合わせ及び導入内容の検討	4月～3月	平成26年4月からの稼働	・公共料金の口座振替払システム導入決定 ・出納閉鎖前は、前年度及び当年度の支払いが混在するため、実施を平成26年7月稼働に見直した。 ・見直しによるスケジュールの変更に伴い、改めて準備内容の調整を行っている。	・導入のための調査実施済 ・7月の稼働に向け最終テストを5月に実施予定 ・準備と並行して、5月下旬以降事務担当者を対象とする説明会を開催する予定 ・実施時期の見直しにより、目標達成率は80%程度			
特記事項	市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		取組による効果・残された課題				

平成25年度 重点目標管理シート

重点目標	公金管理事務適正化のため実施する検査等の継続			部局名	会計管理者	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第1編 コミュニティ・自治 第2章 分権自治を確立するために 第2節 機敏に対応できる効率的な組織にする				市長マニフェスト における位置付け	-1-(1)	
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・公金の管理は正確かつ適正に行われなければならない、公金を取扱う課所・職員は常に緊張感を持ってこれにあたる必要があります。しかし、公金取扱現場では、担当者の人事異動に伴う交代等の事情による適正な事務の維持・継続が課題となっています。 ・内部的には、現金取扱課所の実地検査（上田市財務規則253～256条）を平成20年から実施しており、これについては継続的に行っていく必要があります（対象課所120、3年1サイクル）。 ・使用料等の収納事務を外部の団体等へ委託している場合、会計管理者が委託先の事務について必要に応じて検査ができることとされており、担当課及び委託先への検査を平成22年度から開始しました。 						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・市内部において現金実地検査を実施することにより、現金を取扱う職員の自覚を促すとともに、人事異動等に伴う担当者交代等による事務の継続性への影響を最少化して、公金管理の適正化を徹底する。 ・市内部および委託先への検査を実施して、公金管理の適正化を図ることにより、市民の信頼確保に資する。 ・会計担当者の研修会等で、公金の管理について注意喚起を行うことにより、職員の意識を高める。 						
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）			
市内部の公金管理の適正化 (1) 現金取扱課所の中から対象課所を抽出 (2) 対象課所の実地検査を実施 (3) 指摘事項について改善状況調査を実施	7月～11月	(1) 40課所程度を抽出 (3) 指摘事項の改善率100%	(1) 対象課所を抽出、7/19から検査開始 (2) 37課所の実地検査を終了 (3) 今後、指摘事項に対する改善状況について調査を実施する予定	(1) 現金取扱課所の中から対象課所を抽出 (2) 対象課所について検査を実施 7/19～10/8の間 37課所を実施 進捗率100% (3) 指摘事項について改善状況を調査 対象17課所・51件 進捗率100% 指摘事項の改善率 98.0%			
委託先における公金管理の適正化 (1) 委託先の中から対象委託先を抽出 (2) 対象委託先の担当課について事前検査を実施 (3) 委託先の実地検査を実施 (4) 指摘事項について改善状況調査を実施	10月～12月	(1) 5～6業務を抽出 (4) 指摘事項の改善率100%	(1) 対象委託先を抽出 (2) (3) 6委託先及びその担当課への検査 10月下旬から検査を開始する予定 (4) 検査終了後、指摘事項があった場合改善状況について調査を実施する予定	(1) 委託先の中から対象委託先を抽出 (2) (3) 6つの委託先及びその担当課への検査 11/25～12/10の間 6委託先及びその担当課への検査を実施 進捗率100% (4) 指摘事項について改善状況を調査 対象6委託先・36件 進捗率100% 指摘事項の改善率 100%			
研修会における公金管理適正化の指導 (1) 新任会計事務担当者研修会での指導 (2) 財務会計事務担当者研修会での注意喚起	(1) 5月 (2) 7月	(1) 50名程度 (2) 80名程度	(1) 5/30実施 出席者39名 (2) 7/29・30実施 出席者69名 進捗率100%	(1) 5/30実施 出席者39名 (2) 7/29・30実施 出席者69名 進捗率100%			
特記事項	市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		取組による効果・残された課題				

平成25年度 重点目標管理シート

重点目標	歳計現金の安全で効率的な管理・運用への取組			部局名	会計管理者	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第1編 コミュニティ・自治 第2章 分権自治を確立するために 第2節 機敏に対応できる効率的な組織にする				市長マニフェスト における位置付け	-1-(1)	
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ペイオフ解禁後、歳計現金については、借入との相殺を基本に余剰資金を管理・運用しています。 ・多くの基金が繰替運用により歳計現金に組み入れられていることから、歳計現金は常に多額の余剰資金が生じる状況となっています。 ・歳計現金の管理・運用は、基本的には普通預金、定期預金及び譲渡性預金により行っており、日々刻々変わる収支状況及び相殺枠をより正確に把握して、効率的な管理・運用を行うことが課題となっています。 ・万一、金融機関の破綻等ペイオフの発動があった場合は、借入との相殺を行うこととなりますが、一時的には資金不足になるので、安定的な資金運営を確保するために預入先である金融機関の経営状況の把握が必要です。 						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な運用を行うことでより多くの利子収入を得ることにより、歳入の確保に資することができます。 ・安全と効率は、相反する命題ですが、これをより高いレベルでクリアすることにより、市の資金運営に対する市民の信頼確保につながります。 						
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）			
金融機関の経営・財務状況の把握 (1) ディスクロージャー誌等による情報収集 (2) 経営状況に関するヒアリングの実施 (3) 資金管理委員会における分析・評価	7月～8月	(1～3) 対象：市内6金融機関	(1～3) 8/9市内6金融機関に対して実施済 進捗率100%	(1～3) 8/9市内6金融機関に対して実施済 進捗率100%			
正確な収支状況の把握 (1) 各所属における収支状況チェック (2) 収支報告書の正確性向上 (3) 歳計現金残金の抑制	(1) 毎月 (2) 研修時の指導 (3) 年度末（平均）	(1) 財務会計事務担当者への通知：毎月 (2) 新任会計事務担当者：50名 財務会計事務担当者：80名 (3) 残額の年平均日額：10億円	(1) 毎月実施、今後も継続実施予定 (2) 新任会計事務担当者（5/30）出席者39名 財務会計事務担当者（7/29・30）出席者69名 進捗率100% (3) 4～9月平均残額（日額）751,641千円	(1) 毎月実施 進捗率100% (2) 新任会計事務担当者（5/30）出席者39名 財務会計事務担当者（7/29・30）出席者69名 進捗率100% (3) 年間平均残額（日額）897,222千円 10億円以内とした目標を達成 * 運用利息実績 H24:29,910千円、H25:30,267千円			
特記事項	市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		取組による効果・残された課題				